

かなり高い割には利用度が低い。反対にVTRは所有率が小・中学校では50%以下であるが、所有校でよく利用されていることになる。

半数以上の教師が利用している機器としては、小学校でOHP、テープレコーダー、テレビ受像機を、中学校はOHPを、高等学校は該当するものがなく、特殊学校でテープレコーダー、スライド映写機、テレビ受像機をあげることができる。ほかは1部の教師の利用が多い。

つぎに、それぞれの機器がどの教科・領域で利用されているかをまとめたのが〈表1〉である。

ここでは中学校におけるデータを示しているが、機器それぞれの特性をよく生かした利用がされているとともに、理科・社会科ではほとんどの教育機器を利用していることがわかる。

小学校、高等学校、特殊学校でも中学校と大きな差はないが、小学校ではテープレコーダーの1位が国語、OHPの1位が算数になっている。高等学校はテレビカメラの1位が理科、2位工業、カメラの1位が理科2位社会、特殊学校ではテレビ受像機、VTR、16%映写機の1位が社会でしめられている。

(2) 教科・領域別の利用状況

〈図1〉の右側の円グラフは教科・特活等での教育機器の利用のようすを比較したものである。

これをみると学校種別に関係なくほぼ全ての教科・領域で教育機器が利用されていることがわかる。

利用の度合いは小学校は社会、理科、道徳、国語、学校行事の順に、中学校では理科、社会、英語、国語、学校行事の順に、高等学校は理科、社会、保健体育、国語、

〈表2〉教科・領域別の利用頻度の高い教育機器

(中学校)

| 順位 教科等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|-----------|----------|----------|---------|----------|----------|
| 国語・書写 | テープレコーダー | OHP | スライド映写機 | 16%映写機 | テレビ |
| 社 会 | OHP | スライド映写機 | テレビ | VTR | 16%映写機 |
| 数 学 | OHP | 反応分析装置 | シート録音機 | スライド映写機 | テレビ |
| 理 科 | OHP | スライド映写機 | テレビ | VTR | 16%映写機 |
| 音 楽 | テープレコーダー | OHP | スライド映写機 | テレビ | VTR |
| 美 術 | スライド映写機 | OHP | カメラ | テープレコーダー | テレビ |
| 保健体育 | テープレコーダー | OHP | スライド映写機 | VTR | コンセプト映写機 |
| 技術・家庭 | OHP | スライド映写機 | カメラ | コンセプト映写機 | テレビ |
| 英 語 | テープレコーダー | OHP | VTR | テレビ | LL |
| 道 徳 | テープレコーダー | OHP | スライド映写機 | 16%映写機 | テレビ |
| 学指・学活 | テープレコーダー | OHP | スライド映写機 | 16%映写機 | 8%映写機 |
| 学校行事 | カメラ | テープレコーダー | 16%映写機 | 8%撮影機 | OHP |

※TP作成機を除く

英語の順に、そして特殊学校では、国語、社会、体育、道徳、音楽の順になっており、(1)でふれたように理科、社会での利用が多い。

また、小学校での道徳、高等学校、特殊学校での体育での利用、中学校での教科でのほとんど差のない利用など、特徴としてあげることができる。

つぎに、教科・領域ごとにどのような機器が多く利用されているかを表わしたのが〈表2〉である。

これは中学校でのデータであるが、教科の特質に応じて機器が利用されており、OHPはどの教科でもよく利用されていることがわかる。

小学校ではテレビの利用が多く、道徳で1位、社会、理科、音楽で2位をしめている。高等学校では16%映写機が保健体育で1位、社会、理科で2位をしめている。さらに商業科ではOHP、スライド映写機、工業科ではOHP、16%映写機、家政科ではOHP、スライド映写機、農業科でスライド映写機、OHPがよく利用されている。特殊学校では、テレビが社会、理科で1位にあり養護・訓練ではテープレコーダー、OHP、スライド映写機が利用されている。

3. 教育機器の利用についての研修はどのように行われているか。

教育機器を充実し、その活用をはかるには、機器の取り扱いをはじめ、どのように授業の中に生かすか、必要な教材をどのようにして準備するかなどの問題を解決しなければならない。そのためには教師ひとりひとりが研究するとともに、学校全体として取り組み、教育機器に関する研修を深めることが必要である。

ここでは学校において教育機器に関する研修がどのように行われているかを解明するため、調査結果をもとに分析を試みた。

(1) 教育機器に関する校内研修の実施状況

〈表3〉は昭和52年度に行われた教育機器に関する校内研修の実施状況をまとめたものである。

小学校、中学校、高等学校、特殊学校ともその50~60%の学校で研修を実施しており、その回数は年1回が半

〈表3〉教育機器に関する校内研修の実施状況

| | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特殊学校 | |
|------|-------|-----------------|--------------|--------------|-------------|
| 実施校数 | 341校 | 124 | 46 | 10 | |
| 割合 | 63.5% | 50.6 | 51.7 | 62.5 | |
| 実施回数 | 1回 | 186校 (54.5%) | 60 (48.4) | 25 (54.3) | 6 (60.0) |
| | 2~5回 | 130 (38.1) | 61 (49.2) | 20 (43.5) | 4 (40.0) |
| | 6~10回 | 15 (4.4) | 2 (1.6) | 1 (2.2) | 0 (0) |
| | 11回以上 | 10 (2.9) | 1 (0.8) | 0 (0) | 0 (0) |

※実施回数の()内の数字は該当実施回数校÷実施全校×100